

図画工作科 学習指導案

期 日 令和3年11月12日(金) 第6校時
授業 13:40~14:40

題 材 名 見立てアート「50th anniversary
in 治田小」

指 導 者 中信教育事務所学校教育課 北澤 公浩 専門主事
授業学級 6年1組

男子 10 (1) 名 女子 17 名 計 28 名
授 業 者 木下 将志

授業会場 千曲市立治田小学校 体育館

学校教育目標 及び 図画工作科でのとらえ

「ふるさと治田に学ぶ心ゆたかな子ども」

1. 進んで学ぶ
→自分の思いを基に活動し、新しい意味や価値を自ら創造する喜びを味わう。
2. 支え合う
→活動や作品を通して他者と関わりながら、自他の違いの良さを感じあう。
3. 最後までやりぬく子
→自分の思いを基に、様々な方法を用いて試行錯誤していく。

全校研究テーマ

「心に残る」わくわく感・成就感の持てる授業づくり

長野県美術教育研究会 全県研究テーマ

ひびき合う感性『私っていいな!』
“楽しく子どもアート”

図画工作科 研究テーマ

イメージをふくらませながら、自分にとっての意味や価値をつくり出す喜びを味わう授業づくり

更埴大会テーマ

ふるさとで楽しく子どもアート

児童の実態

- ・いろいろな活動に対して意欲的に取り組むことができる。
- ・ICTを活用した授業や活動に興味をもち、友だちと協力して情報収集するなどグループで活発に話し合いをすることができる。
- ・自分の考えや主張に対し、自信を持って発表することが苦手な姿も見られる。
- ・自分事として考えることができにくい場面も見られ、話し合いが深まりにくいことがある。

こういう場面で

- ・治田小学校にある様々な場所を想起する場面で。

このようにすれば

- ・6年間通った思い出の治田小学校のお気に入りの場所や気になる場所を見つけ、タブレットで撮影する。
- ・どの場所をどう変えると楽しいか考えながら、撮影した場所の画像を、何か他のものに例えて作品をつくる。

こうなるだろう

- ・普段見慣れている身近な場所でも、少し視点を変えて見つめ直し、試行錯誤しながら働きかけたことにより、楽しい空間にすることができる喜びを味わう。

教師の願い

- ・ICTの活用を通して、友だち同士が積極的に関わり、友だちの新しい一面に気付いてほしい。
- ・作品制作を通して、自分の考えや主張について自信を持って表現しながら、つくり出す喜びを味わってほしい。
- ・活動を通して新たな見方や考え方を広げ、わくわく感や達成感を実感しながら、ねばり強く取り組んでほしい。

素材の特性

- ・選んだ場所をタブレットで撮影し、画像編集機能を利用することで、画像にアイデアをかいたり消したりできるので、子どもたちがイメージを広げていくのに効果的である。
- ・6年間生活してきた子どもたちにとって、思いで深い校舎を改めて見つめなおすことで、新たな発見が生まれる。
- ・Chromebook(タブレット)を活用することで、子どもたちの作品を教師が集約し、全体の場で作品を見せたり、鑑賞したりすることができる。
- ・画像をもとに、さらに制作場面で工夫したり、アイデアを広げたりすることができる。

学習指導案

1 題材名

『見立てアート「50th anniversary in 治田小」』A表現(1)ア、(2)ア、B鑑賞(1)ア、【共通事項】

2 題材目標

【知識および技能】

- (知識) 場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくる時の感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解する。
- (技能) タブレットを使った学習の経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくる。

【思考力、判断力、表現力等】

- (発想や構想) 場所にあるものや空間などの特徴をもとに、造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考える。
- (観賞) 身近な場所にあるものや自分たちのつくりだしたものの造形的な良さや美しさ、表現の意図や特徴、つくり方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
- (自分のイメージをもつこと)
動き、奥行き、バランスなどをもとに、自分のイメージをもつ。

【学びに向かう力、人間性等】

- 主体的に場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

3 題材展開の概要と評価規準

段階	時	学 習 課 題 ・ め あ て	評価規準
導 入	1 ・ 2	学習活動 「楽しい空間に変えたい場所を探そう」 ● 自分たちの50周年記念として、治田小学校のいろんな場所や空間を、どんな楽しい空間に変えられそうか探しに行き、タブレットで撮影する。	○つくりだす喜びを味わい主体的に場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。(学びに向かう力、人間性)
		学習活動 「撮影した画像を『ちょいたし』して、空間を作り変えよう」 ● 自分のイメージをもとに、画像編集機能を使って楽しい空間につくりかえる。その画像を編集しながら、次時の制作の見直しをもつ。	○動き、奥行き、バランスなどを基に、自分のイメージをもちながら、場所にあるものや空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。(思考・判断・表現)

○階段の壁にある木の部分が下に向かって伸びているね(場所、形)
○掃除用具入れの壁に、2つの丸い穴があいているよ(場所、形)
○廊下の壁は広くて、どこも真っ白だね(空間、色)
○体育館前の長い廊下は、緑色をしているね(空間、色)

○階段の木部分を川に見立てたら、魚が泳ぐ小川になるかな?
○掃除用具入れの穴を目に見立てたら、ロボットになりそうだ
○真っ白な壁を雲に見立てたら、くじら雲ができそうだ
○緑廊下を草原に見立てて、動物を描いたら面白そうだね

展 開	3 ・ 4 ・ 5	<p>学習活動 「タブレットの画像をもとに、空間を作り変えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タブレットで編集した画像をもとにしながら、実際に撮影した場所に行き、空間を作り変える。 ● 作り変えるために必要な道具を準備する。 ● 作り変えた場所は、タブレットで撮影して保存する。 <p>○青い画用紙で川を作って、そこに折り紙で魚や海の生き物を作って貼ってみよう ○掃除用具入れの穴の周りに模造紙を貼って、マジックでロボットをかいてみよう ○真っ白な壁に色画用紙で作ったくじらを貼ったらくじら雲をつくってみよう ○緑廊下の上にある色々な折り紙の動物を置いていたらサバンナの草原ができたよ</p>	○場所にあるものの形や色などを生かして、楽しく見えるものをつくる時の感覚や行為を通して、動き、奥行き、バランスなどを理解している。(知識・技能)
	振 り 返 り	6	<p>学習活動 「楽しく作り変えた空間を見て、感じたことを伝えあおう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちが作り変えた空間の画像を鑑賞し合い、思ったことや感じたことを意見交換する。

4 本 時 案

(1) 主 眼

校内で楽しい空間にできそうな場所を探した子どもたちが、タブレットで撮影した画像を編集したり、編集画像を共有したりすることを通して、場所にあるものや空間などの特徴を基に、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えることができる。

(2) 本時の位置

題材全6時間中の第2時

(3) 本時を支える基礎的・基本的な内容

- ・ 本校の日課に位置づいているパソコンタイムの経験を生かした、タブレット操作の基本技能。
- ・ 今までの図工学習で学んできた表現する力。

(4) 本時での ICT 機器の運用

- ・ タブレット端末 (Chromebook) を使い、楽しい空間になりそうな場所を撮影する。
- ・ アプリ (ロイロノート) を使い、画像上で空間をつくり変える。

(5) 指導上の留意点

- ・ 個人でじっくり追究できるように、ペアではなく一人一台のタブレットを利用する。
- ・ 空間そのものをつくり変えるのではなく、空間にあるものを利用しながらつくり変えるようにする。

(6) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	○指導・評価	時間
導 入	1 学習問題を確認する。	<p>【学習問題】 撮影した画像を『ちょいたし』して、空間を作り変えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これは、階段の壁の画像だな。 ・ 青い色がぬられている。 ・ 川みたいな形をしているね。 ・ 魚が入った！ ・ 階段の壁が、魚が泳いでいる小川に変身 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が作成した「ちょいたし」画像を提示し、活動の見通しを持たせる。 ・ 編集前の画像からどんな空間になりそうか想像させ、編集後の画像 	5

展 開	2	<p>タブレットで撮影したものを編集する。</p>	<p>したね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この画像では、はじめの空間が何かわからないね。 ・ もともとその場所にあるものの形や色を生かして、空間をつくり変えるんだね。 <p>【学習課題】 もとの形や色を生かしながら、タブレット上で空間をつくりかえよう</p> <p>・ 撮影するときの注意点を確認する。</p> <p>【空間の撮影の仕方】 1 ロイロノートを起動する 2 ノートを新規作成する 3 カメラを起動する 4 撮影をして保存する (2枚) 5 保存した元の画像と、編集した画像をロイロノート上でひもづけする。 6 提出箱に提出する</p>	<p>を提示することで、場所にあるものの形や色などを生かして想像をふくらめることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もとの形がわからない編集画像を提示し、もとの形や色が残っている状態をつくり変えることを確認させる。 <p>・ 個人で考えるのが苦手な児童には、撮影した場所や空間からどんな感じがするのか声をかけながらイメージを広げさせる。</p> <p>・ 画像を2枚撮影させ、編集前の元の空間と編集後の空間が比較できるように、2枚同じ画像を保存させる。</p> <p>・ タブレットで撮影した画像は、あくまで設計図なので、実際にその空間をつくり変えることを意識させるようにする。</p>	
	3	<p>編集した画像を共有する。</p>	<p>○掃除用具入れの穴の形を見ていると、何かの目に見えてきたよ。ロボットが作れそうだな。</p> <p>○広い真っ白な壁を見ていると、大きな雲に見えてきたぞ。くじら雲ができそうだな。</p> <p>○長くて緑色のわたり廊下を見ていたら、草原に見えてきたよ。動物を描いたら面白そうだね。</p> <p>○プリンターが並べてある空間が、ジャングルに見えてきたよ。ここに動物がいたら面白そうだな。</p> <p>○鏡のまわりの空間は、同じものが映るね。人形を作ったら人形が2つになる。人や家をたくさん作ったら、町ができるかもしれないね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの画像を見ると、参考になるね。 ・ 自分が選んだ場所も、もっと見方を変えると楽しい空間になりそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードを元に、場所や空間を撮影させる。 ・ 撮影するエリアや終了時間を示して活動に入らせる。 ・ イメージがわかなくなったり、停滞していたりする児童がいたら、色や形やイメージなど、どこに着目すればよさそうかを助言しながら活動させる。 ・ 「どこが気になったの?」「どんな感じがしたの?」「どんな空間につくり変えられそう?」など造形要素を意識させる声がけをする。 ・ 撮影した画像はロイロノート上で提出させるようにする。 ・ もとの色や形を生かしている画像を取り上げ紹介していく。 	30
終 末	4	<p>活動をふり返る。(次時への見通し)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編集した画像を参考にしながら、次はいろんな色の画用紙をたくさん使って空間をつくり変えてみたい。 ・ 自分が撮影した場所に、次は紙粘土に色をぬって人形や動物を並べてみたい。 ・ 模造紙を大きく切って壁に貼って、いろんな模様をかいてみたい。 ・ 私たちの50周年記念の思い出になる空間を創り上げたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードに次時にやってみたいことを書かせる。 ・ 発言した児童の撮影画像を提示しながら、ふり返りを発表させる。 <p>【評価】 場所にあるものや空間などの特徴を基に、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えることができる。</p>	10